

農業技術センター普及指導部作物関係情報

タイトル：水稲の生育状況（7月3日現在）について

発信日：2020年7月6日

1 内容

平年値(2010～2019年までの過去10年平均)と比べ、7月3日現在の水稲の生育状況は以下の表1のとおりです。

表1 水稲の生育状況(7月3日現在)

| 品種 | 移植時期 | 草丈 | 茎数 | 葉色 |
|-------|------|------|-------|------|
| はるみ* | 6月上旬 | やや長い | やや多い | やや濃い |
| | 6月中旬 | 同等 | 同等 | 同等 |
| キヌヒカリ | 6月上旬 | 同等 | やや少ない | 同等 |
| | 6月中旬 | 同等 | やや少ない | 同等 |
| さとじまん | 6月上旬 | 同等 | 少ない | 同等 |
| | 6月中旬 | 同等 | やや多い | 同等 |

*2014～2019年までの過去6年平均との対比

- ・出穂期は、現時点の生育と今後の気象予報からほぼ平年並み～やや早いと予想されます。

2 留意事項

(1) 気象

気象庁が7月2日に発表した1か月予報は、気温は「高い」、降水量は「ほぼ平年並み」、日照時間は「ほぼ平年並み」となっています。

(2) 水管理

中干しは、最高分げつ期ごろから5～7日程度水を切り、土壌表面に軽いひび割れができる程度に干します。表2の農業技術センターの平年値を参考にしてください。

無効分げつを抑制するため、茎数が25本前後になりましたら、中干しをしっかりと行いましょう。

(3) 害虫防除

・イネツトムシ(イチモンジセセリ)【写真1】

イネツトムシの防除適期は、「平年よりやや早い」予測です。イネツトムシのふ化最盛日(県平均)は、平年よりやや早い7月19日の予測です。

防除適期は、粒剤でふ化最盛日の5日前、その他の薬剤でふ化最盛日から5日後程度です(県内各地域の予測ふ化最盛日は病害虫防除部のホームページ参照(病害虫情報 号外第4号))。



イネツトムシ【写真1】

左上:被害状況

右上:卵

左下:成虫

右下:幼虫

• 斑点米カメムシ類【写真2】

カメムシ類に吸汁されると玄米に斑点が生じることがあります。カメムシ類は、畦畔等の雑草で増殖するため、除草を徹底することが有効です。ただし、出穂期頃の除草は、カメムシ類を水田に追い込むことになるため、畦畔雑草の除草は出穂10日前までに必ず終わらせます。



ホソハリカメムシ【写真2】

• ウンカ類（縞葉枯病）【写真3、4】

縞葉枯病は、ウイルスを保有しているヒメトビウンカに吸汁されることで発生します。縞葉枯病が発生している水田ではヒメトビウンカの防除を行います。



ヒメトビウンカ
成虫【写真3】



縞葉枯病【写真4】

• スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）【写真5～7】

発生地域では周辺への拡大防止のため、水田周辺や水路の貝を捕殺するとともにピンク色の卵（卵塊）は潰しましょう。また、水田内への侵入を防止するため、水口に6～9mm目合いの網を設置します。



スクミリンゴガイ【写真5】



スクミリンゴガイの卵塊【写真6】



網の設置の様子【写真7】

(4) 雑草防除

雑草の発生が多い場合は、後期剤を使用上の注意に従って施用します
(収穫前日数に注意)。

(5) 農作業安全

気象庁によると、1か月予報は平年よりも高温になる見込みです、農作業中の熱中症に注意して下さい。熱中症の予防には日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとりましょう。汗で失われた水分を十分に補給するとともに、帽子の着用や、汗を発散しやすい服装を心がけましょう。

高温多湿の環境下でのマスク着用は熱中症のリスクが高まりやすいです。屋外で人と十分な距離を確保できる場合は、マスクを外しましょう。マスクを着用する場合は、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけ、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的に外して休憩しましょう。

表2 農業技術センター（平塚市）での過去10年平均値

| 作期 | 品種名 | 中干し時期 | 穂ばらみ期 | 出穂期 |
|--------|-------|--------|--------------|---------|
| 5月27日植 | キヌヒカリ | 7月7日頃 | 7月22日～8月6日頃 | 8月6日* |
| | さとじまん | 7月14日頃 | 7月29日～8月13日頃 | 8月13日* |
| 6月7日植 | はるみ | 7月11日頃 | 7月26日～8月10日頃 | 8月10日 |
| | キヌヒカリ | 7月10日頃 | 7月25日～8月9日頃 | 8月9日 |
| | さとじまん | 7月17日頃 | 8月1日～8月16日頃 | 8月16日 |
| 6月17日植 | はるみ | 7月17日頃 | 8月1日～8月16日頃 | 8月16日** |
| | キヌヒカリ | 7月16日頃 | 7月31日～8月15日頃 | 8月15日 |
| | さとじまん | 7月21日頃 | 8月5日～8月20日頃 | 8月20日 |

- ・ 穂ばらみ期は、出穂期約15日前～出穂期までの期間。水稻が最も水分を必要とする時期であるため、水田の水を十分に保つようにする。
- ・ * ; 5月下旬植については、2002～2006年（5年平均）のデータに基づく。
- ・ ** ; 6月中旬植えのはるみについては、2010～2012、2015～2019年（8年平均）のデータに基づく。

問合せ先

農業技術センター普及指導部作物加工課

平塚市上吉沢1617

TEL : 0463-58-0333 内線381～384

FAX : 0463-58-4254